



《コロナウイルスとタバコ》

日本での新型コロナウイルス感染が始まった2月から、まさか、こんなことになるとは予想だにしていなかったと思います。

このウイルスが怖いのは、感染力や致死率が高いだけではありません。感染しても8割の方が軽症あるいは無症状ですむ反面、重症化する人も一定の割合でいる点です。

さらに怖いのは、この病気で亡くなる場合、発症から死亡までが非常に早い点です。イタリアのデータでは平均でわずか8日間。しかも、隔離された状態で治療が行われるため、家族や友人と最期の時間を過ごすこともありません。

このウイルス感染で見過ごせないのがタバコの影響です。タバコというと、ガンや脳卒中、心筋梗塞や歯周病などのリスクとして知られていますが、新型コロナウイルスの重大リスクであることもわかってきました。

重症化した喫煙者が16.9%、以前に喫煙していた方が5.2%で、非喫煙者と比較すると、重症化リスクは約1.7倍になります。人工呼吸器や集中治療室を必要としたり、亡くなったリスクは約3.2倍に上がりました。

慢性肺疾患の方は、新型コロナウイルス以外のウイルスや細菌の肺炎を起こしやすく、重症化しやすい、しかも、一度発症すると、再び肺炎になりやすいこともわかっています。

欧州疾病予防センターも「喫煙者が新型コロナウイルスに感染すると、重症化リスクが高い」と発表。WHOも同様の警告を鳴らしています。

口腔内にもタバコは多大な影響を及ぼします。ウイルス感染も口腔内から侵入することが多く、口腔内の環境が悪ければ、肺炎も起こしやすくなるでしょう。その点からも健康に留意し、禁煙することが大切です。🌱